

加茂中だより

令和8年2月20日
2月号

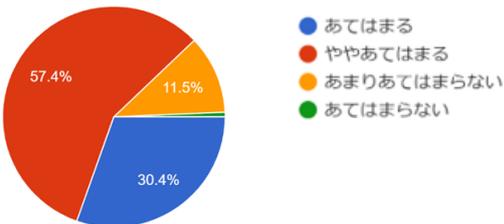
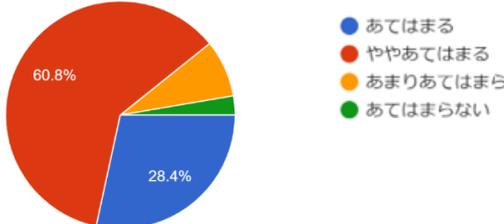


HP
QRコード

HP 更新中！ <https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1520023>

○2学期 学校評価アンケートより～ * () の数値は1学期比

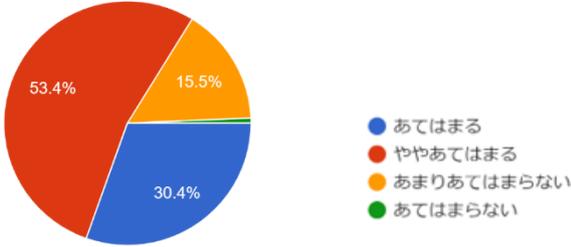
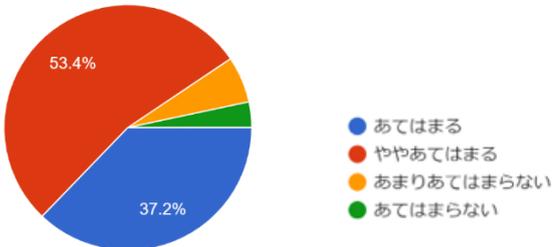
<教育活動全般>

<p>①「明るくたくましい実践力のある生徒」を目指し、全校で取り組んでいると感じられますか。</p>  <p>● あてはまる ● ややあてはまる ● あまりあてはまらない ● あてはまらない</p>	<p>②学校は、生徒一人一人の個性を大切にした教育に取り組んでいると思いますか。</p>  <p>● あてはまる ● ややあてはまる ● あまりあてはまらない ● あてはまらない</p>
①の肯定的評価 87.8% (-4.9%)	②の肯定的評価 89.2% (+1.2%)

自由記述より

- ・先生方からいつも熱心に生徒をご指導いただき、本当にありがとうございます。加茂中学校もあと数年で閉校となり、母校がなくなるさみしさがあります。思い出の学校となるよう、子どもたちの学校生活を支えていただけると嬉しいです。これからもよろしくお願いたします。
- ・大変素敵な合唱コンクールでした。ですが、平日開催ではなく土日に開催していただきたいです。参観や面談等、平日にしか出来ない行事で仕事を休んでいましたが、さらに平日の行事が増えてしまったので大変です。兄弟もいるので兄弟の学校行事もありますし、平日開催の行事はなるべく減らしていただきたいです。
- ・体育祭や合唱コンクールなど競い合うイベントで優劣つける賞で明確な点数がないならば、優れていたクラスは他のクラスより優れて差が出たのか、結果発表の時にでも解説があると親も生徒も納得し次に活かせると考えます。
→式典の時間内では伝えきれない詳細なアドバイスや称賛のポイントを、後日各クラスへ書面で届け、学級活動での振り返りに活用していきます。
- ・学校・家庭共に子供に良い事と悪い事を判断し、行動出来る様に会話重視で取り組みを出来れば…。それぞれの個性は尊重し伸ばしてやりたい。宜しくお願いします。
- ・学校行事はもっと早く教えて欲しい
→大きな行事については、4月にHPにアップしています。また、学校説明会の際に配付しています。細かい日程については、学校だよりや学年だより等を通じて、できる限り早い段階での日程告知に努めてまいります。保護者の皆様のご予定を立てやすくなるよう、迅速な情報発信を心がけます。

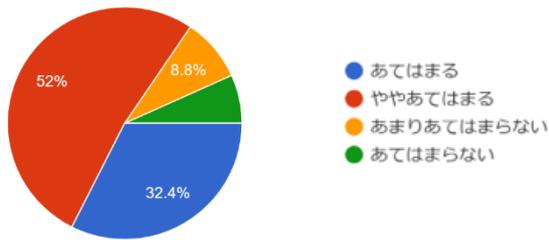
<学習面>

<p>③学校は、学力向上に向けて積極的に取り組んでいると思いますか。</p>  <p>● あてはまる ● ややあてはまる ● あまりあてはまらない ● あてはまらない</p>	<p>④学校は授業以外の諸活動において、生徒に適切な役割を与え、その力を伸ばしていると思いますか。</p>  <p>● あてはまる ● ややあてはまる ● あまりあてはまらない ● あてはまらない</p>
③の肯定的評価 83.8% (-0.8%)	④の肯定的評価 90.6% (-4.1%)

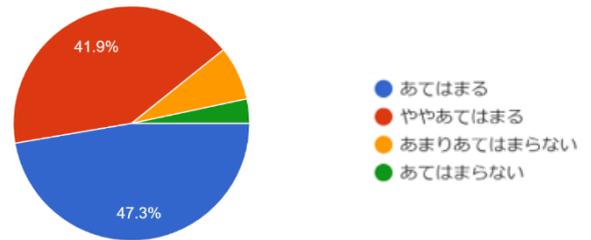
- ・宿題が少なく、自主学習でどうやって勉強したらよいか理解出来ない感じがします。自主的に計画を立ててやる子との差がかなり開くのだろうな、という不安が大きいです。親としてもフォローをしたいとは思いますが、いつも目を光らせるのは難しいので、できれば宿題は出して頂きたいです。
→各教科担当からも画一的な宿題を増やすだけでなく、「基礎を固めるための課題」と「個人の進度に応じた自学」を組み合わせるなど、家庭学習が習慣となるような形を模索してまいります。
- ・テスト期間以外でも学習に対する緊張感を持ってもらいたいので、朝テスト等実施して欲しい。
→学習の緊張感の維持は、学力向上のために非常に重要であると認識しております。今後は、学年の状況や学習進度に応じて、朝の時間を活用した小テストや復習学習などの実施を検討・提案してまいります。

<生活面>

⑤学校は、いじめや不登校、問題のない学校づくりに取り組んでいると思いますか。



⑥学校は保護者に対して誠意をもって対応したり、相談に応じたりしていますか。



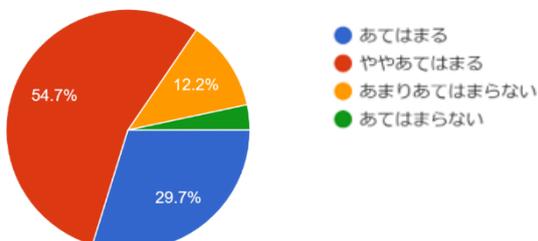
⑤の肯定的評価 84.4% (-2.3%)

⑥の肯定的評価 89.2% (-4.8%)

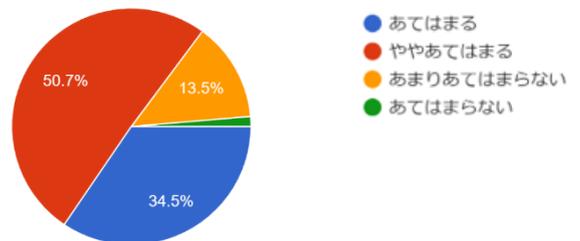
- ・うるさい生徒がいて授業に集中できないと文句言っています。個性も大事ですが授業中にも私語を許すような環境は強調など他の人に迷惑をかけていることについてもっと言及してほしいです。学校は学を学ぶ場所だということを再認識してほしいです。
→授業でのルールの再確認や、私語が発生した際の即時対応を徹底するよういたします。また、特定のクラスや時間帯で課題が見られる場合には、学年主任や管理職による巡回を強化し、授業環境の正常化に努めます。
- ・部活内であったいじめ問題の当事者です。加害者への通知はやめてほしいとの子どもの要望がある以上、学校としてできる対応は限られてしまうのはある程度理解できますが、それでもやはり、今よりも少し踏み込んだ対策をしていただきたいです。こういった人間関係からくる問題は、先生からしてみれば毎年のようにある事案だとは思いますが、親としては大切な子どもの大切な時期です。これ以上悪い方向に行かない対応をお願いいたします。
→個別の事情を最優先に尊重しつつ、お子様が安心して過ごせるよう教職員が一体となり、日々の変化を逃さない細やかな見守りと環境改善に全力を尽くします。また、一つ一つの事案を『いつものこと』と看過せず、かけがえのない時期を守るべく、最善の解決策を粘り強く模索してまいります。
- ・1つだけ改善点があります。子どもが先生方に相談した内容について、先生方が解決に向けてどのような事をしてくださったのか、対策等が見えてこない事です。
→今後は、解決に向けた経過や見守りの方針をより丁寧にお伝えするよう努めます。
なお、生徒の心情やプライバシーに深く関わる事案については、詳細を明かせない場合もございますが、それはお子様自身の安心・安全を守るための措置であることをご理解いただければ幸いです。

<家庭・地域との連携>

⑦学校は地域や保護者の意見を取り入れ、教育活動に反映させていると思いますか。



⑧たよりやホームページ等で、学校の様子はよくわかりますか。



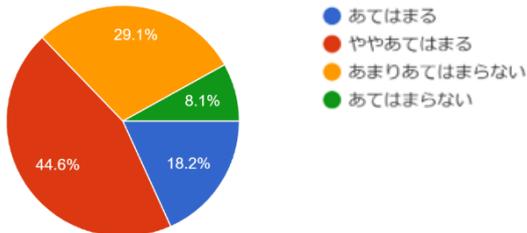
⑦の肯定的評価 84.4% (-1.6%)

⑧の肯定的評価 85.2% (-2.2%)

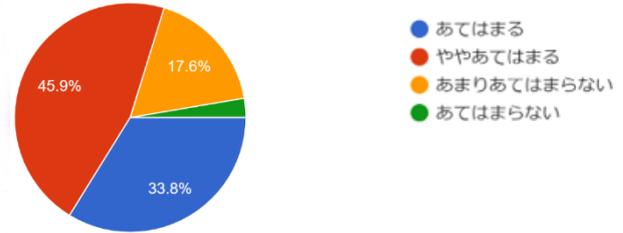
- ・学校は警察が関与するような事が起きた時、隠さず公表してほしい。
→警察関与等の重大事案については、警察と協議の上で公表の可否を判断しております。当事者生徒のプライバシー保護や二次被害防止を最優先とするため、詳細を公表できない場合もございますが、生徒の安全確保に必要な情報は適切に発信してまいります。

<ご家庭での様子>

⑨お子さんは、ルールやマナーを守って、メディアを利用していますか。



⑩家庭では、健康三原則（食事・運動・十分な睡眠）に基づいた生活に努めていますか。



⑨の肯定的評価 62.8% (+0.8%)

⑩の肯定的評価 79.7% (-3%)

- ・下校時おそくなるなどで迎えがいるときなどの連絡手段はありますか？
→お迎え等の日常的な連絡には、校内の公衆電話を自由に使用できます。怪我や急病などの緊急時を除き、原則として生徒自身で連絡を行うルールとなっておりますので、ご家庭でも確認をお願いいたします。

2学期の学校評価についてご協力くださりまして、大変ありがとうございました。
皆様から頂いたご意見を基に、3学期や来年度の教育活動を改善していきたいと思っております。

最近の生徒を見ていて、「もっと粘り強く頑張ればいいのに」「すぐ楽な方に逃げてしまう」と感じてしまうことがあります。勉強から逃げてゲームに没頭したり、学校に行くのを面倒くさいと表現してみたり…。しかし、一度立ち止まって考えてみたいのです。彼らは本当に「弱くなった」のでしょうか？

実は、今の時代は「物事に向き合わない方が圧倒的に楽」な構造になっています。指先一つで快楽が得られるゲーム、不快な情報を一瞬で消せる SNS。そんな「超・即時報酬」の世界に生きる彼らにとって、成果が出るまで時間がかかる勉強や、人間関係の摩擦がある学校は、いわば「コスパの悪い苦行」に見えてしまっているのではないのでしょうか。

これから予測不能な時代を生き抜く生徒にとって、「向き合う力」は学力以上に重要なスキルです。それは単に「我慢すること」ではありません。「思い通りにいかない状況を、どうにか乗り越えようとする力（レジリエンス）」のことで。

「向き合えない」状態の多くは、怠けではなく「失敗への恐怖」と「エネルギー不足」から来ています。「やってもどうせ分らない」「自分には無理だ」という無力感が、彼らを「逃げ（防衛反応）」へと向かわせます。ゲームの世界が魅力的なのは、そこが「何度失敗しても、自分の力で状況を改善できる（自己効力感を持てる）場所」だからです。

では、私たち大人はどう関わればいいのか。精神論で「向き合いなさい」と背中を押すだけでは、彼らはさらに心を閉ざしてしまいます。

「3つのアップデート」

(1) 「ハードル」を地面まで下げる

「向き合う」という行為を巨大な山のように見せないことです。「学校に行く」のが重ければ「着替えるだけ」、「1時間勉強する」のが重ければ「ノートを開くだけ」。まずは「これなら絶対できる」というレベルまでハードルを下げ、小さな成功体験（完了感）を積み上げさせてみる。

(2) 「結果」ではなく「プロセス」の相棒になる

「100点を取ったから偉い」ではなく、「分からない問題に5分間向き合ったね」「嫌だと言いながらも制服に着替えたね」という、向き合おうとしたその瞬間の姿勢を言葉にして認めてあげる。私たち大人が「結果の審査員」ではなく「プロセスの伴走者」になることで、生徒は失敗を恐れずに前を向けるようになります。

(3) 「安心できる退却路」を保証する

皮肉なことに、人間は「いつでも逃げていいよ」「ここは安全だよ」と思える場所があって初めて、困難に立ち向かう勇気が湧いてくるものです。家庭が「ジャッジされる場所」ではなく「エネルギーを充電できるガソリンスタンド」であるとき、生徒は再び外の世界へ向き合うエネルギーを蓄えることができます。

「向き合う力」は、一朝一夕には身につきません。大切なのは、周りが焦らないことです。ゲームに逃げたり「面倒だ」と停滞したりしているのは、彼らなりに今の複雑な社会に適応しようと、心を守っている最中なのかもしれません。

私たち大人は、彼らの「怠け」を叱る存在ではなく、彼らが再び自分の足で一步を踏み出したくなるような「好奇心の火種」を一緒に探すパートナーでありたいものです。

「ノートを開くだけで100点！」「机に向かうだけでもえらい！」——それくらいのハードルから、子供たちの『できた』という実感を一緒に積み上げていきたいと考えています。

『挑戦なきところに、失敗はない』。逆を言えば、失敗があるのは何かに挑んでいる証拠です。学校は、生徒たちが失敗を恐れずに「やってみよう」と思える場所でありたいです。結果の良し悪しに関わらず、挑み続けるその姿勢を、私たちは全力で応援していきます。

そんな「一步踏み出す挑戦」から生まれた素敵な企画が、今、2年生の手で形になっています。(次のページへ)

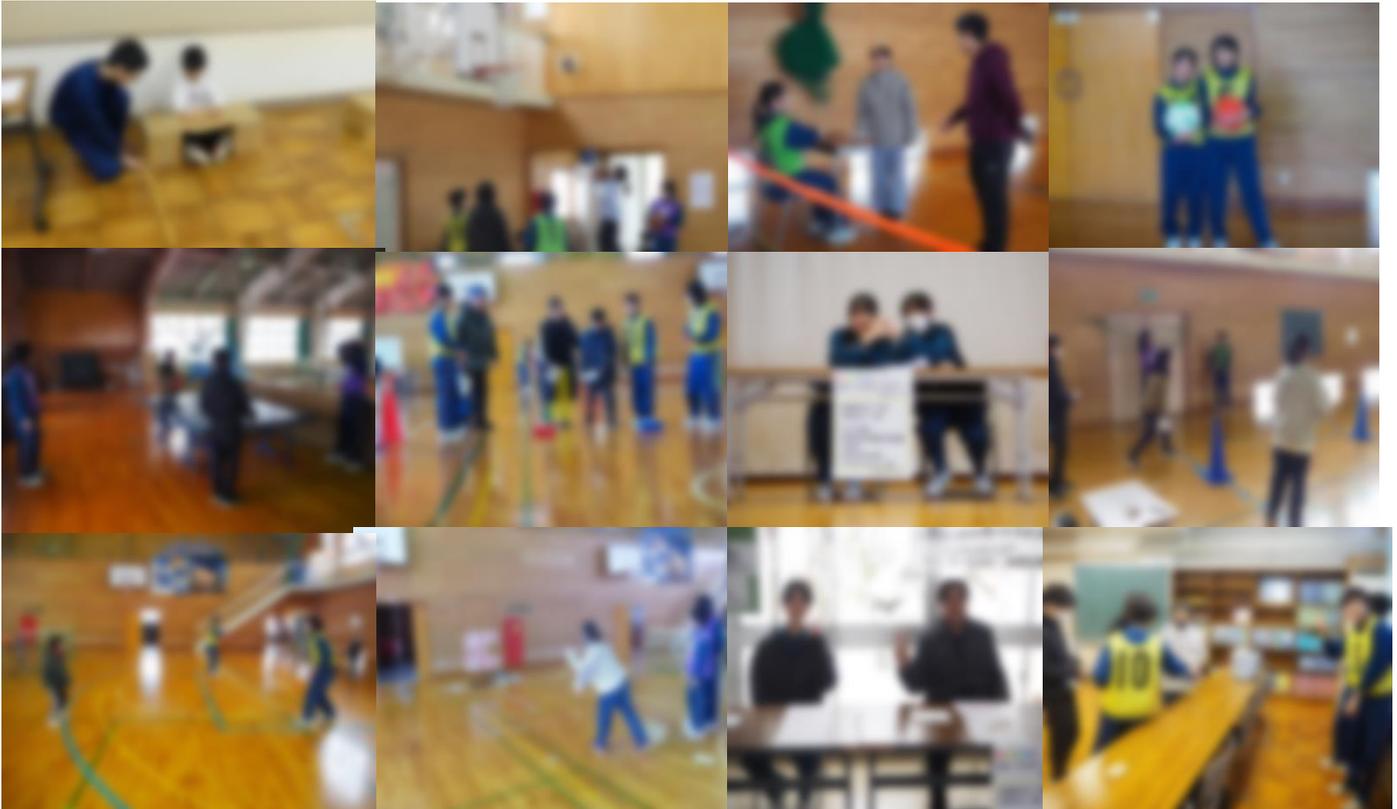
○スポーツでかもん

加茂中学校の2年生が、地域を元気にするための体験型スポーツイベントを企画し、本校体育館にて開催しました。このイベントは、市内の小学生を対象に「スポーツの楽しさを知ってもらいたい」という願いから生まれたものです。会場には、バスケットボールやバレーボール、卓球などの定番種目から、ポッチャ、ストラックアウト、体力測定、さらには白熱の20m走まで、多彩な体験ブースが設置されました。中学生たちは各ブースでルールを説明したり、小学生を応援したりと、頼もしいお兄さん・お姉さんとして運営に奔走しました。

すべての競技を達成した参加者には、加茂市自慢の名産品がプレゼントされ、会場は大きな歓声に包まれました。企画から運営までを成し遂げた2年生にとって、自分たちの力が地域に貢献できることを実感する貴重な機会となりました。

○次は修学旅行で「加茂の魅力」を世界へ！

この経験で得た自信を胸に、3月5日からの修学旅行では、訪問先で加茂市の魅力を全力でPRしてくる予定です。小さな一歩から大きな挑戦へ。生徒たちのさらなる飛躍を、ぜひ応援してください。



○難関突破米を頂きました

2月20日、JAえちご中越様より3年生生徒に「難関突破米」を頂きました。この米は、通常よりも網目の大きな目幅2mmの「ふるい」にかけ、約1,300年の歴史をもつ越後平野を見晴らす青海神社で祈祷を受けています。これから立ち向かう様々な難関を乗り越えてもらいたい、という願いを込めたお米です。JAえちご中越様からは、毎年この時期に頂いています。ありがとうございました。



◇3月の予定◇

3日	(火)	第79回卒業証書授与式	12日	(木)	公立高校合格発表日
4日	(水)	公立高校一般選抜	18日	(水)	公立高校2次募集試験日
5日	(木)	2年生修学旅行(～7日)	19日	(木)	2次募集合格発表日
9日	(月)	1年生保護者会、5限授業参観	24日	(火)	3学期終業式
11日	(水)	80周年準備委員会、R8評議委員会票作業	25日	(水)	離任式(予定)